

ごみんちゅ

平成28年10月

こんにちは、ごみんちゅです。小田原市のごみの減量に取り組んでいます！

「ごみんちゅニュース」今回は、布類のリユース・リサイクルについてお知らせするよ。

今回のテーマ

布類は雨の日に出さないで！～リユース・リサイクルのために～



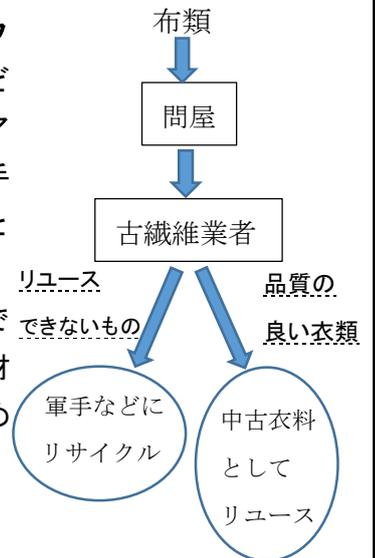
Q. 「紙・布類」の収集日が月に2回あるけど、布類は雨の日には出しちゃいけないことになっているよね。それはどうして？



A. 水にぬれてしまうと、再利用できなくなってしまうからだよ。

収集された布類は、種類や状態に応じてリユース（再使用）・リサイクル（新たな製品の材料として再利用）しています。品質の良い衣類などは、古紙・布類を扱う問屋を経て古繊維業者を通じて国内や東南アジアなどの海外で中古衣料としてリユース。リユースできない布類は、軍手やぞうきんなどの製品、ぬいぐるみやクッション、スリッパの詰め物としてリサイクル。

しかし、リユースもリサイクルも、布が乾いている状態でなければできません。布がぬれているとカビが生えることもあり、リユース品・材料として利用できなくなってしまいます。布類を確実に再利用するために、雨の日には出さないようお願いしています。



Q. どんな布が「紙・布類」の収集日に出せるの？

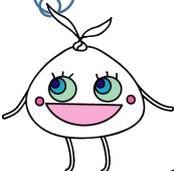


A. ほとんどの布類は再利用できるよ。一緒に確認しよう！

布類の中には、現在のリユース・リサイクルの流れの中では古繊維業者が再利用できないものもあります。次のようなものは燃せるごみとしてお出してください。

綿入りのどてら、衣類以外の羽毛製品、ぬいぐるみ、クッション、座布団、布団、まくら、マット、カーペット、おむつ、布の切れ端、ぞうきん（使用済み）、靴下（使用済み）、どろや油などで汚れたもの

「燃せるごみ」の中身を調べると、再利用できる布類が含まれています。再利用できる布類を分けて「紙・布類」の収集日に出せば、燃せるごみの量も減らせます。分別にご協力をお願いします。



衣類はリユースするから、ボタンや付属品は取らずにそのまま出してね！